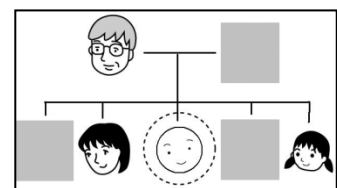
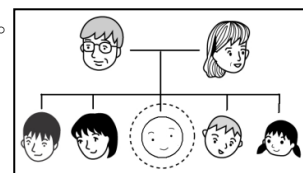
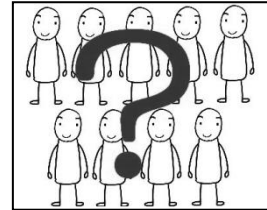


ふんぼう 7

きょう かい しょ かい 教科書・課	『日本語あきこと友だち』第10課
ひょうげん 表現	家族紹介、人数（ひとり、ふたり、さんにん……） 家族のことば
もくひょう 目標	家族紹介ができる
じゅん び 準備	絵カード（何人ですか、家族）、数字カード（1～10）、タスクシート

【教案】

00 あいさつ	
05 導入	TTがJTに絵カードを見せながら、質問する。 （2回聞かせる） TT：〇〇さん、家族は何人ですか。 JT：4人です。 TT：そうですか。 TTはどんな意味か、Sに推測させる。必要に応じて説明する。 【目標提示】TTは「今日は家族紹介の練習をしましょう」とSに伝える。
08 【人数】 語彙導入 練習	① JTは数字カードを使って、人数の言い方「ひとり、ふたり、さんにん、……じゅうにん」を導入する。TTは「ひとり」「ふたり」「よにん」に注意させる。 ② JTの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。 ③ 【聞き取り練習】 JTが人数を言い、Sはその人数で集まる。 ※ TTはタイ語でやりかたを説明する。 ④ 【応答練習】 絵カードを見せながら、TTが「何人ですか」と言う。SはTTの発音を聞いて、リピートする。 TTが「何人ですか」の絵カードを見せたら、Sは「何人ですか」と言う。 次にJTが数字カードを見せ、Sはその数字を見て、「〇人です」と言う。 全体練習をしたり、クラスを半々に分けたり、個別に当てたりする。
20 【家族】 語彙導入 練習	① JTが絵カードを使って、家族のことばを導入する。 ★わたしの父（母、兄、姉、弟、妹） ★あきこさんのお父さん（お母さん、お兄さん、お姉さん、弟さん、妹さん） Sは聞く。 ② TTは生徒に「父とお父さん」はどう違うと思うか、質問する。Sは推測して、答える。TTは、Sの答えを生かしながら、「自分の家族」と「ほかの人の家族」では、言い方が変わることを説明する。 ③ JTの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。



	④【聞き取り練習】J Tは、家族の絵カードの人物を何人か隠す。J Tが言った人が絵にある場合、Sはリピートする。ない場合は、リピートしない。 ⑤ T Tが「兄」と言ったら、Sは「お兄さん」と言う。 ★テンポよく練習する。
30 会話練習	① J TとT TはSに会話を聞かせる。 例) T T: ○○さん、家族は何人ですか J T: ~人です。父と母と妹がいます。 T T: そうですか。 ② J Tの発音を聞いて、Sは2~3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、クラスを半々に分けて練習したりする。 ③ T TはSに絵カードを見せる。Sはみんなで家族の説明のしかたを考える。  ④【インタビュー】タスクシートを配布する。Sは「わたし」の家族に○をつけて、自分の家族の説明を考え、説明できるように準備する。準備ができたなら、Sは友達と、お互いの家族を紹介し合う。相手の家族構成を聞いたなら、タスクシートに○をつける。2~3人と家族を紹介し合う。 ※ T Tは、友達のタスクシートを見ないように、注意する。 最後に、何人かにあて、友達の家族を紹介させる。 例 S: ポンさんの家族は5人です。 お父さんとお母さんとお兄さんと妹さんがいます。 ほかのSは、それを聞いて、タスクシートに書き込む。 T Tは、必要に応じて、答えを確認する。 ★時間がなかったら、宿題にして、書いて出させてもいい。 ★おじいさん、おばあさんなどを紹介したがるSもいるかもしれないが、今日は習ったことはだけを使うように促すといい。
45 まとめ	T TとJ Tは絵カードを使って、今日習ったことは、会話をSに言わせ、家族を日本語で紹介できるかどうか、確認する。

【タスクシート例】

わたし	人	     
さん	人	     
さん	人	     
さん	人	     
さん	人	     
さん	人	     
さん	人	     

ぶんぼう 8

教科書・課	『日本語あきこと友だち』第15課
表現	～たことがあります
目標	経験について話したり、質問したり、答えたりすることができる。
準備	絵カード、ビンゴシート

【教案】

00 あいさつ 出席	
05 導入	① T T は、日本語またはタイ語で、「日本の町で知っているところはどこですか」「どんな日本の食べ物を知っていますか」「日本で有名なものは何ですか」などを S に聞いて、S の答えを黒板に書く。 例) 東京、京都、すし、たこやき、新幹線、ふじさん ② T T は、黒板に書いたことばを S と確認する。そして、ことばの横に○、×を書く。 ③ T T は○をつけたものをさし、「～たことがあります」と言う。また、×をつけたものをさし、「～たことはありません」と言う。2回ずつ言う。 例) 東京 ○ T T : 私は東京へ行ったことがあります。 たこやき × T T : わたしはたこやきを食べたことはありません。 T T はどんな意味か、S に推測させる。また、「ことがあります」の前の動詞は、どんな形か、S に考えさせる。S の反応を見て、必要に応じて説明する。 ④ T T は「た形」を導入する。
15 練習	① J T は動詞カードを見せながら、「辞書形」「た形」の順で言う。S は J T の発音を聞いて、リピートする。 J T 「来る」→ S 「来る」 J T 「来た」→ S 「来た」 ★ J T は「辞書形」「た形」のアクセントを間違えないように気をつける。 ② J T が動詞カードを見せたら、S は「た形」を言う。全体で言わせたり、個別に当てたりする。 ③ T T は動詞カードを見せながら、「～たことがあります」の文を言う。 S は T T の発音を聞いて、リピートする。 T T 「東京へ行ったことがあります」→ S 「東京へ行ったことがあります」 ★ T T は「た形」のアクセントを間違えないように気をつける。 ④ 【聞き取り練習】 J T は「東京へ行ったことがあります」「たこやきを食べたことがあります」「新幹線に乗ったことがあります」など、導入で出てきたことばを中心に、文を言う。S は経験があれば「○」、なければ「×」のジェスチャーをする。 ⑤ 【代入練習】動詞の絵カードを見せながら、T T がキューを出し、S は文で答える。 例) 行きます T T 「東京」 → S 「東京へ行ったことがあります」 T T 「中国」 → S 「中国へ行ったことがあります」

	の乗ります T T 「新幹線」 → S 「新幹線に乗ったことがあります」 T T 「ぞう」 → S 「ぞうに乗ったことがあります」 ⑥【応答練習】代入練習で使ったキューを中心に、質問と答えを練習させる。 J T 「東京」 → S 東京へ行ったことがありますか はい、あります／いいえ、ありません
35 ゲーム	【ビンゴ】(4×4) ★T TはSにビンゴのやりかたを説明する。 ①J Tがタイで経験しそうなことのリストを書いたビンゴシートを配り、T Tがことばの意味を確認する。J Tのあとに、ことばをリピートする。 ②Sはリストの中から、J Tがタイで経験したと思うものを16選んで、ビンゴシートのまずに、ひとつずつ自由に書き入れる。(番号でもいい。) ③ランダムにSに当てる。SはJ Tに「ソムタムを食べたことがありますか」など、「～たことがあります」を使って、質問する。J Tが「はい、あります」と答えたら、シートの「ソムタム」に○をつける。J Tが「いいえ、ありません」と答えたら、○をつけることができない。 ④○がたて、よこ、斜めのいずれか1列、または2列そろったらビンゴ。 ※SはJ Tの答えを聞いたら、「そうですか」「どうでしたか」など、反応するといい。
45 まとめ	T Tが今日なにを勉強したか質問し、Sは答える。

【ビンゴシート例】

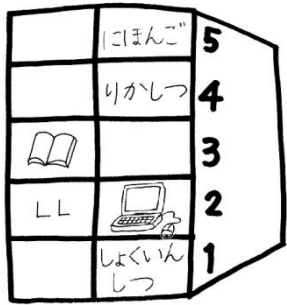
〇〇先生はタイで ことがありますか。

- | | | | |
|----------------|--------------|------------|-----------|
| 1) ソムタム | 2) トムヤムクン | 3) ガイヤーン | 4) かえる |
| 5) ドリアン | 6) パパイヤ | 7) チョンプー | 8) マンゴスチン |
| 9) 映画 | 10) ドラマ | 11) トックトック | 12) ソンテウ |
| 13) サムロー | 14) チェンマイ | 15) プーケット | 16) アユタヤ |
| 17) マッサージ | 18) ぞう | 19) パンダ | 20) タイの服 |
| 21) ニューハーフ・ショー | 22) ワットプラケーオ | | |

ぶんぼう 9

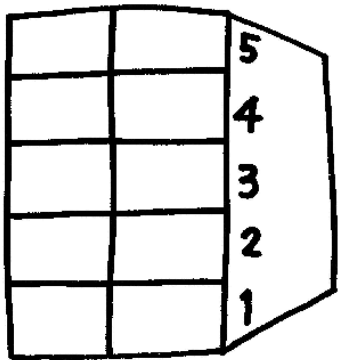
きょう かしょ か 教科書・課	『日本語あきこと友だち』第3課
ひょうげん 表現	数字（1～10）、○階、りかしつ、としょしつ、LL 教室、日本語の教室、トイレ、職員室、コンピューター室、～はどこですか。
もくひょう 目標	学校案内ができる
じゅん び 準備	数字のフラッシュカード、絵カード、タスクシート

【教案】

00 あいさつ	
05 【○階】 導入 練習	① TTとJTが会話をする。（2回） JT：すみません、日本語の教室はどこですか。 TT：2階です。 JT：そうですか。どうも。 TTはどんな会話かSに推測させる。 Sは考えて、答える。TTは必要に応じて、説明する。 ②【目標提示】TTは「日本人のお客さんがきたとき、学校の中を案内できるようにしましょう」と言う。 ③JTは絵カードを見せながら、○階を練習させる。まず、2～3回ずつリピートさせる。次に、数字のフラッシュカードを見せながら、Sに言わせる。全体で練習したり、個別に当てたりする。 ※TTはいいかい、さんがい、ろっかい、はっかい、じゅっかいに注意させる。 ④【聞き取り練習】TTは1～10の中から任意で5つの数字を黒板に書く。 JTは1～10階をランダムに言う。黒板に同じ数字がある場合、Sはリピートし、ない場合はリピートしない。
20 どこですか 導入 練習	①黒板に建物の見取り図を簡単にかく。  JTがTTに話しかける。 JT：すみません、LL きょうしつはどこですか。 TT：2階です。 JT：2階ですね。どうも。 会話を2回聞かせる。 TTはどんな意味か、Sに推測させる。そして、Sの反応を見て、必要に応じて説明する。 ②TTの発音を聞いて、Sは場所のことばを練習する。 TT：LL きょうしつ → S：LL きょうしつ だいたい覚えるまで練習する。 ③JTと会話の練習をする。JTの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、クラスを半々に分けて練習したりする。 ④【インフォメーション・ギャップのある会話練習】 タスクシートを配る。Sは自分の学校の、教室の配置を考える。TTはほか

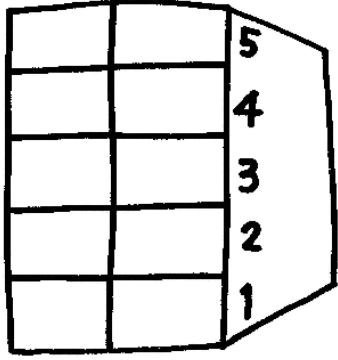
	の^{ひと}人に見^みせないように^い言う。準^{じゅん}備^びができた^ら、ペア^になり、お^{たが}互^がいの学^{がっこう}校^はの配^{はい}置^ちを聞^きき合^あう。時^じ間^{かん}があ^あった^ら、2～3人^ととやりとり^{する}する。 ⑤ランダムにSを^あ当^{あた}てる。S^{ぜんいん}全^{ぜん}員^{いん}で、「すみません、〇〇は^{どこ}どこ^{ですか}ですか」と^{しつもん}質^{しつもん}問^{もん}し、 当^{あた}て^{れた}ら^{れた}Sは^{こた}答^{こた}える。
45 まとめ	J Tが黒^{くろ}板^{ばん}の^み見^と取^とり^ず図^みを見^みないで、Sに「すみません、〇〇は^{どこ}どこ^{ですか}ですか」と^{しつもん}質^{しつもん}問^{もん}する。S^{ぜんいん}全^{ぜん}員^{いん}で、ある^{いは}は、ランダムに^あ当^{あた}て^たら^たSが^{こた}答^{こた}える。ス^{はっ}ム^わーズ^わに^は発^{はつ}話^わで^きる^かど^うか、^{かくにん}確^{かくにん}認^{にん}する。 T Tは、日^に本^{ほん}人^{じん}に^が学^が校^{こう}案^{あん}内^{ない}が^{でき}そ^うか、Sに^{しつもん}質^{しつもん}問^{もん}する。

_____ の がっこう

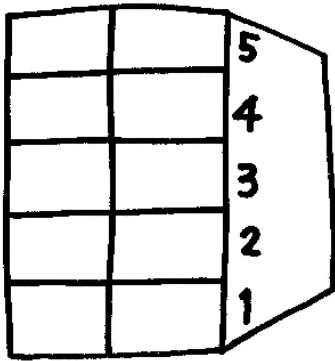


A りかしつ
B としよしつ 
C コンピューターしつ 
D LLきょうしつ
E しよくいんしつ
F にほんごの きょうしつ

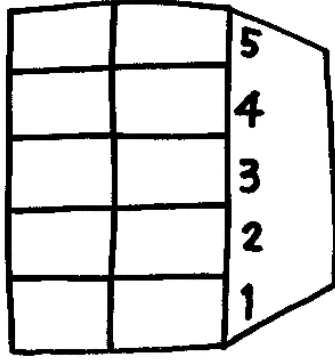
_____ の がっこう



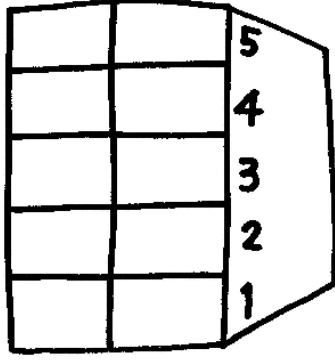
_____ の がっこう



_____ の がっこう



_____ の がっこう



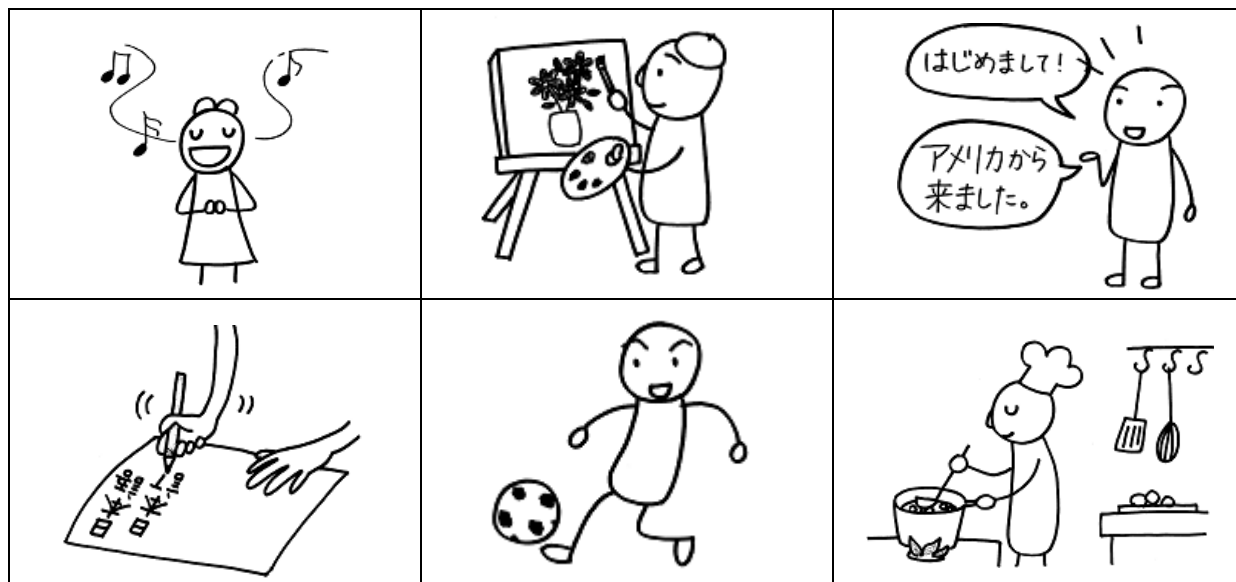
ぶんぼう 10

きょうかしょ・か 教科書・課	『日本語あきこと友だち』第10課
がくしゅうこうもく 学習項目	～ことができます
もくひょう 目標	自分が <u>できる</u> ことを説明できる。
じゅんび 準備	「できること」を表す絵カード

【教案】

ふくしゅう 復習	① 辞書形を復習する。TTは辞書形の作り方を確認する。 TT「行きます」→S「行く」 ② JTのあとに、反復練習をする。JT「行く」→S「行く」
どういゆう 導入	① TTが、JTができることを2～3紹介し、意味を推測させる。 ★TT：みなさん、〇〇先生はてんぷらを作ることができます。 ② TTが「～ことができます」の形と意味を説明する。
きほんれんしゅう 基本練習	① TTが動詞の絵カードを使って、反復練習をする。 ★TT：歌うことができます。→S：歌うことができます。 ② JTが絵カードを使って、反復練習をする。 ★JT：日本の歌を歌うことができます。 →S：日本の歌を歌うことができます。 ③ TTが絵カードを見せて、Sに言わせる。 ★S：日本の歌を歌うことができます。 ④ TTが絵カードをつかって、Sに質問する。 ★JT：日本の歌を歌うことができますか。 →S：はい、（少し）できます。／いいえ、できません。 ⑤ 聴解練習【クイズ】 ★JTはSにクイズを出す。 例 1. JT：ここでコーヒーを飲むことができます→ S：きってん 2. JT：ここで手紙を送ることができます→ S：郵便局 3. JT：ここで日本語を勉強することができます→ S：教室 4. JT：ここで買い物をすることができます→ S：スーパー 5. JT：ここで映画を見ることができます→ S：映画館 6. JT：ここで泳ぐことができます→ S：プール ⑥ JTはSに質問する。 例 JT：教室で何をすることができますか。 →S：勉強をすることができます。 友達と話すことができます。 など
おうようれんしゅう 応用練習	【インタビュー】 ① Sは「～ことができますか」という質問を2～3つ考える。そして、S同士、

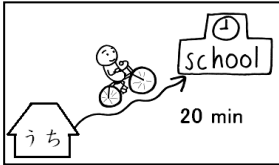
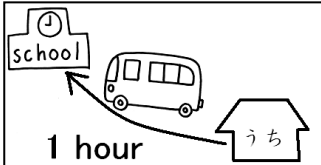
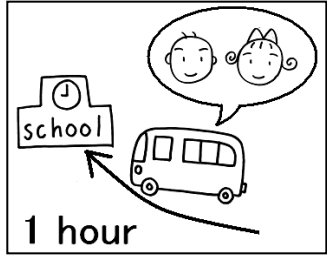
	インタビューし合う。 ※TTとJTは、Sの日本語をチェックしながら、^{まわ}回る。 ②ランダムにSに^あ当て、TTやJTに^{しつもん}質問させる。
まとめ	TTが勉強 ^{べんきょう} したことを確認 ^{かくにん} する。



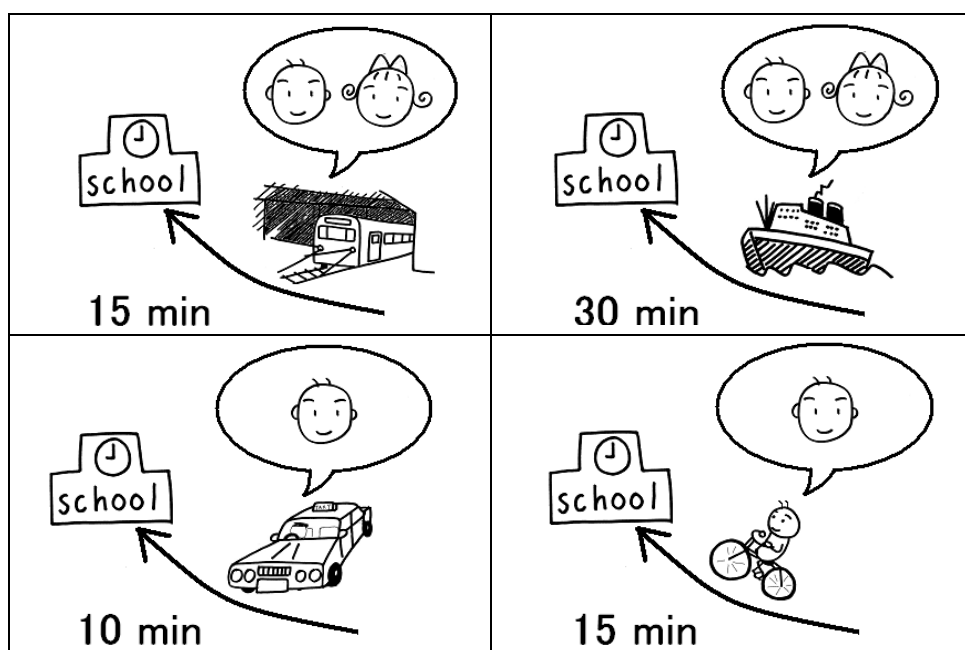
ぶんぼう 11

きょうかしょ・かい 教科書・課	『日本語あきこと友だち』第5課 練習 6
ひょうげん 表現	【場所】から【場所】まで【乗り物】で <u>どのくらい</u> かかりますか。
もくひょう 目標	友達に、ある場所までどのくらいかかるか尋ねたり、答えたりできる
じゅんび 準備	前の授業までに、第5課の「【乗り物】で【時間】かかります。」の導入、基本練習を終わらせておく。 時間のフラッシュカード

【教案】

ふくしゅう 復習 (20分)	①時間のフラッシュカードを使って、T Tが時間の言い方を復習する。 ★○時間、△分、○時間△分 ②【聞き取り練習】 J Tが問題を10問言う。Sはノートに答えを書く。 例 ① 2時間 ② 30分 ③ 1時間40分 ④ 4時間 ⑤ 3時間半 …… ③ T Tが「【場所】から【場所】まで【乗り物】で【時間】かかります。」を復習する。※前の授業で使った絵カード(8枚)を使うといい。   ④ 『日本語あきこと友だち』第5課 練習 5 (p.9) を使い、復習する。 グループやペアで、会話をさせる。 例 A: ナッターさんのうちから学校まで1時間かかります。 B: そうですか。 ※ T TとJ TはSがきちんと話せるか、確認しながら聞いて回る。
ぶんぼうどうにゅう 文法導入 練習 (25分)	① T TとJ Tが会話をします。2回聞かせる。 T T: ○○さん、毎朝どうやって学校へ来ますか。 J T: 友達とバスで来ます。 T T: うちから学校までどのくらいかかりますか。 J T: 1時間くらいかかります。 T T: そうですか。 ※ 「どのくらい」と質問するとき、②を絵カードの時間のところに置く。   T Tは、会話の内容をSに推測させ、確認する。 ② 絵カードを使って、J Tのあとに、反復練習をする。スラスラ発音できるよ

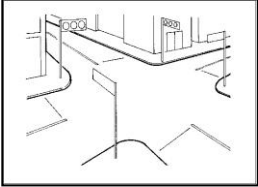
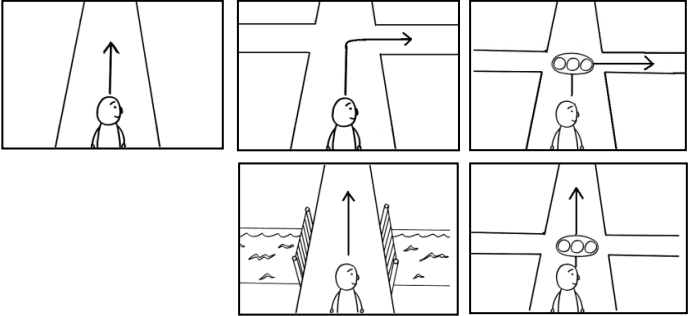
	うになったら、J TとSで役割練習^{やくわりれんしゅう}をしたり、クラスを2つに分けて役割練習^{やくわりれんしゅう}をしたりする。 ③教科書の表に自分のことを書く。(本当のことでもいいし、想像^{そうぞう}でもいい。) その後、友達^{ともだち}2～3人にインタビューする。 ※T TとJ TはSがきちんと話せるか、確認^{かくにん}しながら聞いて回る。 ④時間^{じかん}があったら、ランダムにSを選び、発表^{はっぴょう}させるといい。T TやJ Tと会話^{かいわ}をしてもいい。
まとめ (5分)	T Tは今日 ^{きょう} 習ったことを確認 ^{かくにん} する。



ぶんぼう12

きょうかしょ・か 教科書・課	『日本語あきこと友だち』第12課
ひょうげん 表現	【道案内の語彙】まっすぐ行く、～を～へ曲がる、～をわたる、交差点、信号、角、一つ目など、
もくひょう 目標	お勧めの店への行き方が説明できる
じゅんび 準備	フラッシュカード、絵カード 地図を黒板に書いておく。(橋や信号を描いておくといよい。)

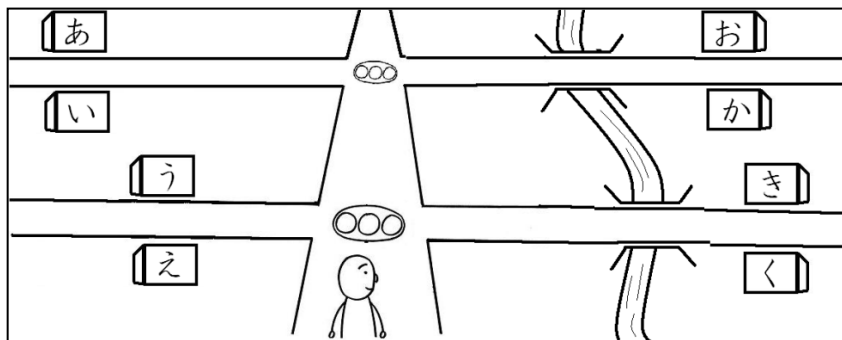
【教案】

00	あいさつ	
05	目標提示	T TとJ Tは、Sにいいお店の情報を聞く。Sはタイ語で自由に答える。T Tは「今日は、お勧めの店へ、どうやって行けばいいか、行きかたの説明を練習しましょう」と伝える。
10	表現導入	① T Tは絵カードを使って、交差点、信号、角、○つ目のN（1つ目の信号）など、説明に必要なことばを導入する。T Tの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。 ② 絵カードを使って、 「まっすぐ行きます」「まっすぐ行ってください」 「曲がります」「曲がってください」 「渡ります」「渡ってください」 を導入する。J Tの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。 ※ J Tはて形のアクセントに注意する。   ③ T Tは渡カードを使って、 「学校の前の道をまっすぐ行きます。」 「学校の前の道をまっすぐ行ってください。」 「ひとつ目の角を右へ曲がります。」「ひとつ目の角を右へ曲がってください。」 「ひとつ目の信号を右へ曲がります。」「ひとつ目の信号を右へ曲がってください。」 「橋を渡ります。」「橋を渡ってください。」 「信号を渡ります。」「信号を渡ってください。」 を1～2回リピートさせながら導入する。Sに「(場所) ⑤ (移動動詞)」 にの「を」に気づかせる。 それから、J Tの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。だいたい覚えるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。

30 会話練習	① 黒板の地図を使って、『日本語あきこと友だち』第12課 p.31 のような会話を導入する。まず、TTとJTが会話をする。 JT: すみません、PPレストランはどこですか。 TT: PPレストランですか。まっすぐ行って、ひとつ目の信号を左に曲がってください。PPレストランは右にあります。 JT: どうもありがとうございました。 TTは、PPレストランが、黒板の地図のどこにあるか、Sに確認する。 ② TTは「～て、～て、～ます。～は～にあります。」と「～て、～て、～てください。～は～にあります。」という会話パターンを説明する。 ③ 黒板の地図を見ながら、「～て、～て、～ます。～は～にあります。」あるいは「～て、～て、～てください。～は～にあります。」のパターンを練習する。 まず、JTの発音を聞いて、Sは2～3回ずつリピートする。スラスラ言えるようになるまで、全体練習をしたり、個別に当てたりする。 ④ 黒板の地図を見ながら、ペアで会話練習をする。TTとJTはSがうまく話せるかどうか、聞いて回る。
45 宿題説明 まとめ	① TTは「わたしのお勧めの店」の例を配り、宿題の説明をする。Sは、先生や友達に教えたい店を考えて、1.簡単な地図、2.行き方の説明、3.勧めたい理由を書くように指示する。 ② 今日習ったことを確認する。黒板の地図を使って、全員で道の説明ができるかどうか、言ってみる。スラスラ言えたら、拍手！

★宿題は集めてチェックしたあとで、教室に貼り出してもいい。実際に行って見た人が付箋にコメントを書いて、貼れるようにしてもいい。

【黒板の地図の例】



【わたしのお勧めの店の例】

